

投

稿

tsukoku

です。そのためにはしっかりと歯科治療をおこない、口腔ケアを継続する必要性が出てきます。

私たちが人間の口腔は美味しく食べることに、楽しくおしゃべりをすること、表情豊かな顔をつくることなど、人間として社会生活に必要で大切な機能を持っています。そして、これらの機能を誰もが維持することによって、豊かな質の高い人生(ＱＯＬ)が望めます。

ところが、生まれつき全身的な疾患があったり、あるいは高齢に伴う脳血管障害などによって、筋緊張やまひが残り、寝たきりになっている人たちがいて、歯科治療の必要性を感じていてもなかなか受けれないという現状があります。

歯科治療が困難な人たちの全身管理下での歯科治療について

沖縄県歯科医師会口腔衛生センター 担当理事 真喜屋 睦子

このように全身的に問題がある人たちの歯科治療は、通常下でも通常に歯科治療が困難な場合がほとんどです。近年、麻酔医の全身管理(全療は本人の精神的、肉体的な負担が少なく、短期間での集中治療が可能であり、とても有効な方法だと思えます。さらに、全身管理のためにコミュニケーションがとれない方や筋緊張のため口が開か

ない方、あるいは歯科治療が受けられるようになっています。このように、歯科治療が受けられるようになると、歯科医師会と県行政との連携によって実施されてきました。宮古地区でもこれまで昭和60年、平成4年、9年、14年、16年、18年、20年、今年も11月16日(火)～12月3日(金)まで県立宮古病院で実施される予定です。3、沖縄県福祉保健部障害保健福祉課(098・8666・21)で、当事業で全身管理下での安全、安心な歯科治療を受けたい方は、沖縄県歯科医師会(098・877・1811)までご連絡をください。申し込め切りは9月30日(木)です。

平成22年9月25日(土) 宮古毎日新聞